

～横浜市新型コロナウイルス感染症対策～

横浜市医師会及び横浜市薬剤師会と連携し

高齢者施設に対する医療支援等の更なる強化を図ります

2022年6月22日
市長定例記者会見
説明資料

- ◎オミクロン株の流行により、過去最大の感染拡大
- ◎若年者では比較的軽症例の割合が高いものの、
高齢者では重症化事例が発生

重症化リスクの高い高齢者への適切な対応が重要



県と協力して、高齢者施設への
アンケート調査を実施

アンケート調査概要①

【目的】

- ・高齢者施設における協力医療機関との連携状況の確認
- ・現状を踏まえた今後の医療支援策等の検討

【調査項目】

- ・協力医療機関や配置医師の有無
- ・陽性者発生時における協力医療機関の医師等の派遣の可否
- ・PCR検査の実施や陽性患者の入院の判断の可否
- ・点滴などの対処療法や経口薬の処方可否 など

アンケート調査概要②

【対象】

市内高齢者施設 ※ 1,056施設

※特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、有料老人ホーム、
認知症高齢者グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅 等

【実施日】

令和4年4月14日

【回答数(回答率)】

909施設 (86%)

アンケート結果①

【質問】

協力医療機関がありますか？

または配置医師がいますか？



「はい」と回答した施設
863/909施設(95%)

※アンケートの対象には、協力医療機関を定める必要がない施設種別が含まれています。

アンケート結果②

【質問】

施設内で陽性者が確認された際、
その協力医療機関の医師等に
往診・派遣要請ができますか？

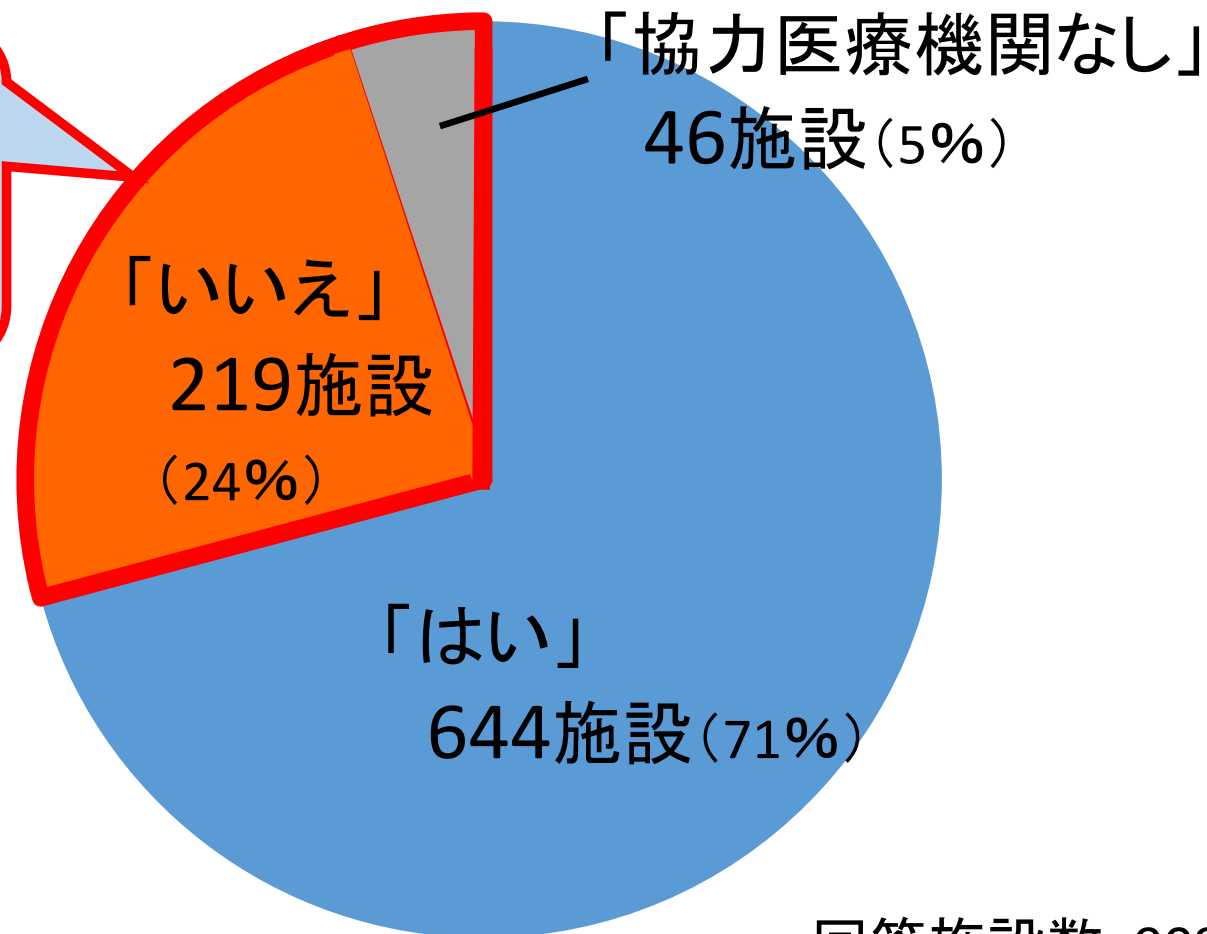


「はい」と回答した施設
644/909施設(71%)

アンケート結果 まとめ

協力医療機関に医師の往診等が要請できるか

これらの高齢者施設
への医療支援強化
が必要(265施設)



回答施設数: 909施設

【市内高齢者施設の現状】

- ✓多くの施設で協力医療機関等を確保している。
- ✓一方で、陽性者が発生した際に往診・派遣要請ができる医療機関を確保できない施設が一定程度あった。



**コロナ対応が可能な医療機関を確保できない
高齢者施設への医療支援強化が必要**

高齢者の重症化予防を図るため

医師会・薬剤師会と連携し、
高齢者施設に対する
医療支援策を充実させます。

高齢者施設に対する医療支援強化

高齢者施設(患者)



① 患者発生

② 施設調査
施設調査(※)

横浜市保健所



健康福祉局健康安全課
各区福祉保健センター
(Y-AEIT)

連携

医療機関を確保していない施設への
医療支援体制の強化

施設医・協力医が
診療等の対応を行う

新たな連携の仕組み



医師会が
診療等の対応



薬剤師会が
薬を配送

※ 調査の中で入院等が必要な場合は
Y-CERTを通じて入院調整

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



医師会・薬剤師会との新たな連携の内容

医師会医師



保健所より高齢者施設の診療依頼

- 電話診療 または オンライン診療 または 往診
- 抗ウイルス薬等の処方
- 中和抗体療法の指示(必要時)
- 入院の要否の判断(必要時) など

薬剤師会(薬局)



医師会医師からの処方依頼

- 調剤(内服薬との飲み合わせの確認)
- 施設への薬剤の配送
- 本人及び施設を通じた服薬指導

あうたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA

